

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和8年5月28日

令和8年度第1回ACP普及啓発講師人材バンク登録講師 ネットワーク会議を開催しました

「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」とは、人生の最終段階で本人が希望する療養場所や医療措置等を実現するため、本人が望む医療やケアを前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

埼玉県ではACPの周知に取り組んでおり、その一環として、介護予防教室や高齢者サロン等でACPの普及啓発を行う講師を登録する「ACP普及啓発講師人材バンク登録制度」を推進しています。

このたび、一般社団法人埼玉県医師会の御協力の下、この人材バンクに登録している講師の皆様を対象にネットワーク会議を開催しました。

会議の概要

- 日時 令和8年5月28日（木曜日）17時～18時20分
- 場所 埼玉県県民健康センター 2階大ホール ※オンラインと併催
- 主な概要
 - 挨拶 一般社団法人 埼玉県医師会 会長 金井 忠男 氏
 - 講演 「ACP（人生会議）の理解と地域連携
～アドバンス・ケア・プランニングの薦め～」
岩手保健医療大学 成人看護学領域 教授、臨床倫理研究センター長
東京慈恵会医科大学 客員教授 三浦 靖彦 氏
 - 参加者 ACP普及啓発講師人材バンク登録講師（医師、看護師等）

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について

県では、人生の最終段階における医療・ケアについて、希望する療養場所や医療処置等を自ら考える機会や本人が意思決定を表明できる環境の整備を進めています。

また、人生の最終段階における医療・ケアに携わる医師、看護師などの医療従事者のほかケアマネジャーなどの介護従事者の専門的な知識の習得、技術の向上を図り、関係職種がチームとして患者や家族を支える体制の整備に取り組んでいます。

詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/zaitaku/zaitakuiryoukea.html>